

議会だよい 上野原市

No.77

令和6年
5月発行

3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
認定こども園「仁」
のみなさん

特集 うえのはらで頑張る人	2
議長あいさつ・議会の新構成	4
定例会で決まった主なこと	6
議決結果等一覧表	9
閉会中の委員会活動	10
会期中の審査	11
予算特別委員会	12
一般質問	15
市民の声	20



うえのはらで頑張る人 Vol.30 認定こども園「仁」のみなさん

昨年4月に開園した少数縦割り保育で、自然遊びや地域とのつながりを大切にした【幼保連携型認定こども園仁】でお話を伺いました。

プロジェクト型保育で
自己肯定感を。

育てたい、
こどもと上野原のみたい

認定こども園の開設を決意したのは、上野原市の雄大な自然とふれあい、感性豊かなこどもの育成に取り組みたい、統廃合が進み大規模なこども園ができた中、小規模で特色のあるこども園をつくることで選択肢を増やしたい、ここだからこそできる子育ての魅力を発信し、上野原市への移住促進、また移住者と地域の人をつなぐ役割を担えるような交流の場として、市の発展に貢献したいという強い想いになります。



保育の理念・方針について

『仁』にかけた想い

■はじめから、本物を ■
本物とは決して高価なものではなく、石ころ、土、水、木、草木など自然にあるものに出会うこと、感覚感性の原体験になります。とこどもあそび、とこども体験、自然やアートに触れ自分の世界を広げます。



育ちに寄り添いながら、自己選択することにより好奇心や意欲を充分に満たすゆとりを持ち、秩序・リズムのある環境や暮らしの中で、根つことなる土台をつくります。

■こどもの居場所は、大人の居場所 ■

こどもをただ預ける・預かる場所だけではなく、親も地域の人にとっても交流サロンのような、つながりの持てる拠点の役割を果たしたいです。



「仁」とは、孔子の教える根幹をなす言葉であり、人に対する思いやりの心を持つことを言います。

乳幼児期はまず自分自身を好きになるために、自分に向けられた思いやりの心をたっぷり浴び、そして次第に他者や自然に対しても同じように思いやりの心を持つことが、人としての基礎となるように願い「仁」と名付けました。

■食べることは、生きること ■
上野原で顔の見える関係を大切に、てまひまかけ育てた旬の野菜や雑穀を使った「はんやおやつ」を口にします。
畑や田んぼもあそびやまなびの場として、豊かな食体験を育みます。



取材を終えて

閉所した保育所を蘇らせ、こども園として開園した「仁」。



園内はリユースアルされ温かみのある乳児室や保育室、園庭はこどもたちが伸び伸びと体を動かし活動できるよう工夫がされており、元気なこどもたちの声が響いていました。
上野原だからこそできる「子育ての魅力」をここから発信していきたいという想いを伺つことができました。



議長就任のおこやつ

市民の皆様には、日頃より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。この度、令和6年第1回定例会において、議員の皆様のご推举をいただき、上野原市議会第20代議長に就任いたしました。大任を拝命し、身に余る光栄と責任の重さを痛感しているところです。

さて、当市には人口減少、防災対策、公共交通、道路、医療福祉、教育等様々な課題が山積しております。どれも早期に解決すべき重要課題であります。

私たち議会は、市民の代表としてその役割を發揮し、執行機関との真摯な議論により、諸課題に対し有効な政策を提言し、政策推進の監視をしていかなければなりません。

それには、私たちも更なる能力と資質の向上に努め、必要な先進地視察は勿論、各分野に亘る勉強会や議員研修会の機会を増やしていきたいと思います。そして、良き伝統は引き継ぎ開かれた議会として、新たな環境や時代に沿った政策を打ち出したいと思います。常にスピード感を持った「新しい発想とフットワーク」を大切にして、更に住みよい上野原、安心・安全な次世代に誇れるまちを創っていきたいと思います。

市民の皆様の御託に応えられるよう、全身全霊で任務を全うする決意であります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



議長 山口 薫



副議長 八木 一雄

◎は委員長 ○は副委員長



佐藤 澄男 安留 俊介	○小俣 崇	清水 一明 ○内田 倫弘	天野 淳一 八木 一雄
----------------	-------	-----------------	----------------

議会の新構成

総務産業常任委員会



安留 俊介 内田 倫弘 天野 淳一
山口 薫 ○遠藤美智子 ○清水 一明 杉本 公文

文教厚生常任委員会



八木 一雄 川田 好博 小俣 崇
東山 洋昭 ○佐藤 澄男 ○白鳥 純雄 長田喜巳夫

議会活性化特別委員会

○八木 一雄 ○清水 一明
議長を除く13人の議員で構成

議会運営委員会



予算特別委員会

○内田 倫弘 ○小俣 崇
議長を除く13人の議員で構成

安留 俊介 小俣 崇 天野 淳一
○東山 洋昭 ○川田 好博 内田 倫弘

3月 定例会

定例会で決まった 主なこと

令和6年第1回定例会が2月29日から3月22日まで23日間の会期で開かれました。

審議された議案

市長提出議案 45件

※ 議案名・議決結果等は9～10ページをご覧ください。

条例 改正

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（上野原市手数料条例の一部を改正する条例制定について）

条例 改正

上野原市手数料条例の一部を
改正する条例制定について

戸籍・除籍謄本等の交付が、本籍地以外の窓口においても可能となり、手数料は本籍地で交付した場合と同額となります。

施行日 令和6年3月1日

条例 改正

議案第10号 上野原市公園条例の一部を改正する条例制定について

矢坪つどいのひろばの編入及び現在の市立公園の見直しに伴い、沓掛公園を廃止するため、条例の一部が改正されます。

施行日 令和6年4月1日

条例 改正

矢坪つどいのひろばが
市立公園に編入されます

議案第9号 上野原市公園条例の一部を改正する条例制定について

保護命令制度の拡充及び保護命令違反の厳罰化のため、これまで法の条文で使用されていなかった接近禁止命令や退去命令等の用語が法により定められたことによる条例改正です。

施行日 令和6年4月1日

条例 改正

議案第6号 上野原市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

保護命令制度の拡充及び
保護命令違反の厳罰化

地域密着型サービス事業に係る施設整備に伴い、旧大鶴小学校グラウンドを用途廃止するものです。

施行日 令和6年4月1日

旧大鶴小グラウンド用途廃止

定例会で決まった主なこと

議案第12号

上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について

条例改正

消防団員の定数及び報酬等の見直し

団員定数を878名から820名に、分団数・部数を10分団48部から10分団45部へ、年額報酬を次のとおり改めるものです。

団長	15万円
副団長	10万円
分団長	5万円
副分団長	4万円
班長	3万円
団員	2万6千円
支援団員	1万円

施行日 令和6年4月1日

議案第8号

上野原市工場立地法地域準則条例制定について

条例制定

工場立地法に係る規制緩和

工場立地法で定める一定規模以上の特定業種の新築に於いて、敷地面積の25%以上(内緑地面積20%以上)を環境施設を設けることとしている。これを企業の成長促進、他市への流出を防ぐ事を目的に、敷地面積の10%(内緑地面積5%以上)以上にする条例です。

施行日 令和6年4月1日

議案第7号

上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

条例改正

介護保険料の改定

令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者の保険料の改定を行うもので、現行の9段階から13段階へ、段階を増やすものです。

施行日 令和6年4月1日

議案第13号 令和5年度上野原市一般会計補正予算(第6号)

補正予算

補正総額2億3333万1千円の予算計上

低所得者支援及び定額減税補助金事業

8267万2千円

生活バス路線維持費補助金

2559万1千円

戸籍・戸籍附票への氏名よみがな追加のシステム改修

832万1千円

市道5路線改良工事費

2400万円

消防団員報酬の増額等

1121万9千円

定例会で決まった主なこと



議案第43号

上野原市教育委員会委員の任命の同意について
上野原市財産区管理会委員の選任の同意について
上野原市恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任の同意について

各種委員会・管理会委員の選任と同意



令和6年第1回定例会議決結果等一覧表

第1回定例会

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ○賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案件名	付託委員会	天野淳一	佐藤澄男	清水一明	安留俊介	小保崇	内田倫弘	八木一雄	山口薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	杉本公文	長田喜巳夫	審議結果
19	令和6年度上野原市一般会計予算	予算特別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
20	令和6年度上野原市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
21	令和6年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	審議結果
1	一	専決処分の承認を求ることについて（上野原市手数料条例の一部を改正する条例制定について）	
2		上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	
3		上野原市長の給与の特例に関する条例制定について	
4		上野原市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	
5		上野原市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	
6	文教	上野原市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	
7	厚生	上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	
8	総務	上野原市工場立地法地域準則条例制定について	
9	産業	上野原市公園条例の一部を改正する条例制定について	
10	一	上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について	
11	総務	上野原市手数料条例の一部を改正する条例制定について	
12	産業	上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について	
13	一	令和5年度上野原市一般会計補正予算（第6号）	可決
14		令和5年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
15		令和5年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	
16		令和5年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
17		令和5年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
18		令和5年度上野原市島田財産区特別会計補正予算（第3号）	
22	予算特別	令和6年度上野原市介護保険特別会計予算	
23		令和6年度上野原市介護サービス事業特別会計予算	
24		令和6年度上野原市教育奨励資金特別会計予算	
25		令和6年度上野原市大目財産区特別会計予算	
26		令和6年度上野原市甲東財産区特別会計予算	
27		令和6年度上野原市巖財産区特別会計予算	
28		令和6年度上野原市島田財産区特別会計予算	
29		令和6年度上野原市上野原財産区特別会計予算	
30		令和6年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算	
31		令和6年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算	
32		令和6年度上野原市秋山財産区特別会計予算	
33		令和6年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算	
34		令和6年度上野原市下水道事業会計予算	

※ 「一」は委員会付託が省略された議案です。

令和6年第1回定例会議決結果等一覧表・閉会中の審査

議案番号	付託委員会	案件名	審議結果
35	予算特別	令和6年度上野原市簡易水道事業会計予算	
36		令和6年度上野原市病院事業会計予算	
37		上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
38		上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
39	－	上野原市飯尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
40		上野原市秋山安寺沢辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
41		上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
42	総務産業	山梨県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	
43	－	上野原市教育委員会委員の任命の同意について	
44		上野原市財産区管理会委員の選任の同意について	
45		上野原市恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任の同意について	

※ 「－」は委員会付託が省略された議案です。

閉会中の委員会活動

総務産業常任委員会

委員長 安留俊介
副委員長 天野淳一
委員 清水一明
内田倫弘
山口 薫
遠藤美智子
杉本公文

閉会中の継続調査として、「廃校施設の利活用について」並びに「市の特産品づくりについて」の視察を行いました。

「廃校施設」については、1月24日千葉県鋸南町の「道の駅保田小学校」を視察しました。

当施設は、インター・エンジニア近接し、南房総方面への観光拠点となつており、管理運営は、指定管理者が行つております。廃校が実施される前から道の駅構想がスタートし、廃校から1年9ヶ月後にはオープンに至っています。

学校という個性的なコンセプトを持ち、それに特化した運営を行うことが成功の秘訣とのことでした。

都留市では、温暖化傾向が進む、「市の特産品づくりについて」は、1月26日、都留市において調査を行いました。



視察後、担当課に対しても、「廃校施設の利活用について」は、どういった利活用ができるかを検討すること、「市の特産品づくりについて」は、都留市の事例を参考に研究していくことを要望しました。

む中、冷涼な気候の都留市がブドウ・モモの栽培適地となり得る可能性があることから、本格的な試験栽培を開始しました。

会期中の審査

総務産業常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 遠藤美智子
委員 天野淳一 安留俊介 内田倫弘 山口 薫 杉本公文

3月4日、委員会を開催し、付託された条例制定等9件について審査しました。

議案第2号「上野原市旅費等の特例に関する条例制定について」は、本年4月1日から翌年3月31日の間、市長以下職員らの旅費の日当を支給しないこととするものです。



議案第3号「上野原市長の給料の特例に関する条例制定について」は、本年4月1日から翌年3月19日の期間における市長の給料を100分の50減額するもので、これにより631万3千755円の減額となります。

議案第9号「上野原市公園条例の一部を改正する条例制定について」は、矢坪つどいのひろばを市立公園に編入し有効活用するとともに、長く利用者のないまま荒廃が進んでいる沓掛公

園を用途廃止するものです。

議案第12号「上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について」は、消防団の活性化と士気高揚を図るため、団員の配置状況や地域の現状を考慮し、団員の定数を見直すとともに、現行の年額報酬を改正するものです。

他の5案件を含む9案件について採決した結果、いずれも全会一致で原案通り可決すべきものと決定しました。

3月4日、委員会を開催し、付託された条例制定2件について審査しました。

議案第6号「上野原市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、配偶者から暴力の防

止及び被害者の保護等に関する法律の施行に伴い条例改正するものです。委員からの、DV防止法に関連し、現在市内で婚姻関係を継続しているひとり親家庭に該当する家庭はあるのか、という質問について、過去5年間について調べたが該当はなかつたとのことです。

3月14日には所管事務調査を開催し、担当課から秋山小学校の複式学級の件について説明を受けました。

委員から、「簡易水道事業について」調査すべきとの意見があり、閉会中の視察調査をすることに決定しました。

文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇 八木一雄 川田好博 東山洋昭 長田喜巳夫

議案第7号「上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について」は、令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者の保険料の改定を行うもので、現行の9段階から13段階へ増やし、新設分の增收分を第1



6年度
予算

当初予算の審査を行いました



副委員長 小俣 崇



委員長 内田 倫弘

一般会計

歳入・歳出

112億7665万1千円

前年度比1.0%増

特別会計(16会計)

歳入・歳出

66億4278万1千円

前年度比9.4%減

第1回定例会で、議長を除く13人の議員で構成される予算特別委員会が設置されました。

予算特別委員会は令和7年第1回定例会の前日までの間、当初予算及び、委員会付託を省略した以外の補正予算について審査します。

委員長に内田倫弘議員、副委員長に小俣崇議員を互選しました。

議案第19号から議案第36号までの令和6年度一般会計予算及び病院事業会計予算等、合わせて18件について、3月6日、8日、12日の3日間にわたり、予算特別委員会で審査を行いました。まず、各課から担当職員の出席を求め、課別の質疑が行われました。

最終日の午後は市長以下全ての部課長の出席を求め、総括質疑が行われました。総括質疑を含め、126件の質疑が行われました。

議案第19号、20号、21号については異議があったので起立採決を行い、可決すべきものと決まりました。他の15案件は全会一致で可決すべきものと決まりました。

以下、いくつかの項目の質疑について、その概略を掲載します。

フリースポットについて

Q フリースポットの内容は。

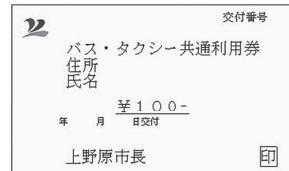
A 本庁舎、もみじホール、福祉センター、地域活性化施設、図書館、秋山支所で来庁者が誰でもWi-Fiを使用できる環境を提供しています。

Q と A 質問と答弁

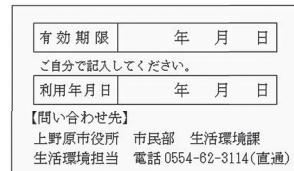
運転免許証返納者への フォローアップ

- Q 運転免許証返納後は1万2千円の市内公共交通が使用できるチケット配布を行っていますが地域事情等により使用が困難な住人へのきめ細かな対応も必要では。
- A 今後は、高齢者運転免許証自主返納支援事業について生活に必要な移動手段の確保を目指し、バス・タクシー共通利用券配布者に対して、意向調査を実施するなど支援のニーズにきめ細やかに対応できるよう、取り組んで参ります。

(表面)



(裏面)



あなたに合った情報をお届けします！

上野原市公式
LINE



防災リーダーについて

- Q 防災リーダーの講習予定と地域格差
- A 令和6年度は6月から7月の間に3日間、講習を予定している。市内で防災に対して積極的な地区を事例にし、他の地域でも特性を生かし広がるようにしていきます。

上野原市公式LINEについて

- Q LINEプラットフォームサービスの概要と利用状況は。
- A 現在、3186名が登録されています。今後、LINEプラットフォームサービスを活用し、市の施設予約、保育園での子供の出席連絡、避難所検索等が出来るよう進めていきます。

都市計画道路構想 の見直しについて

- Q 都市計画道路見直しに向け新年度予算に委託費476万円が計上されました。委託業務の内容は。また、計画10路線別の見直し決定はいつごろか。
- A 業務内容は、国や山梨県など関係機関との協議や都市計画審議会の実施など都市計画道路の計画変更を行う為の支援業務です。令和7年3月までに都市計画決定を行う予定です。

未婚の若者に対する支援

- Q 人口減少対策には、子育て支援・移住支援ももちろん大事だが、今、上野原にいる未婚の若者に対する支援が必要ではないか。
- A 未婚化、晩婚化の要因は複合的で、一自治体でできることには限界がありますが、市で実施できる効果的な事業、支援が何であるかも含め、今後検討していきます。



家庭ごみの有料化について

- Q 指定袋制の実施時期は。
- A 令和14年のごみ広域化に合わせ、6年度後半には市民説明会を始め、8年度途中か9年度当初の有料化を目指したいです。

スポーツ推進委員について

- Q 各地区に推薦依頼をしているが、その活動状況は、また、各種委員の推薦依頼についても見直しが必要な時期では。
- A 毎月の定例会とニュースポーツの指導が主な活動であり、継続していきます。

世界三大ピアノ「ベーゼンドルファー」について

- Q 現状の利用状況と解放事業の成果について。
- A 主にピアノの発表会などで利用されることが多く、単に演奏目的で借りる人は、ほとんどいませんでした。その様な中で、市民の皆様にもっとベーゼンドルファーを知ってもらうため解放事業を実施しましたが、予定した枠は全て埋まり、大変好評でした。新年度以降も、本事業は継続して実施し、もっとアピールしていきたいと考えています。



各議員の主な質問項目

安留俊介議員

- 1 浄化槽の管理について
- 2 地域おこし協力隊と特産品について
他

八木一雄議員

- 1 「保育士の配置基準、76年ぶりに見直し」について
- 2 文化財常設展示施設について
他

長田喜巳夫議員

- 1 合計特殊出生率の推移について
- 2 移住相談状況について
他

東山洋昭議員

- 1 地域公共交通について
- 2 カスタマーハラスメントについて

川田好博議員

- 1 地震対策
- 2 地域社会の活性化
他

小俣 崇議員

- 1 上野原市のまちづくりについて
- 2 上野原市都市計画道路について
他

杉本公文議員

- 1 防災・減災対策について
- 2 市長任期残り1年の事業執行について
他

白鳥純雄議員

- 1 魅力あるまちづくり
- 2 災害への取り組み
他

質問

下水道に加入している世帯、合併浄化槽及び単独浄化槽を設置している世帯、その他の処理の世帯と浄化槽の法定検査受検率は。

答弁

下水道区域内、4093世帯が加入、826世帯が未加入、下水道区域外の浄化槽設置は1675世帯、単独浄化槽設置は2845世帯、くみ取り便槽が624世帯、処理不明が103世帯となっています。設置者に対する管理指導については県の所管であり、県のデータから算出すると約15・8%と非常に低い受検率となっています。

質問

周辺水域を保全するための大きな課題でもあることから、未受検者に対しても、今まで以上に通知の発送や広報、SNSなどの手段を講じて積極的な啓発活動

意見

上野原市の約40%の世帯において、キッチンや洗濯、お風呂からの排水は、何の処理もせず河川に流れてしまつており、排水処理を適正に行い、河川の水質を保全し、綺麗な海にしていく、SDGs、持続可能な開発目標の観点からも積極的に取り組んでいただきたい。

他に、地域おこし協力隊と特産品等について質問しました。

浄化槽の管理について



安留俊介



保育士配置基準の見直しと 文化財常設展示室開設に向けて



八木一雄

人にやさしいまちづくりについて



長田喜巳夫

質問 保育士の配置基準が76年ぶりに見直しとなることから、4～5歳児と3歳児では新基準に照らして現行の担当保育士数を1名ずつ増員を。また、2歳児の保育数は7年度より保育士1人で6名から5名になることから1年前倒ししてこの機会にあわせ、配置基準の見直し検討をお願いしたい。

ます。

質問 人にやさしい子育てしやすいまちを目指し取り組むことが求められる。当市の出生率からみても人口減少は危機的状況にある。社会減解消できれば、必然的に自然減の改善に繋がる。更なる充実策は。

質問 か、この対策を考えないと解決していかない。状況の変化をつくることが必要。

質問 デマンドタクシーの充実、

質問 路線バスの減便対策は急務となっている。住民の要望が現実となる方針は。

質問 移動手段の確保と充実は重要な課題です。現状の公共交通機関を守るとともに、移動支援関連部署と連携を図り取り組んでいきます。

上野原市議会だより No.77 16

答弁 6年度入所予定園児は241名。必要職員数は27名。新基準に照らしても全体では適正な配置ができる状況ではあります。保護者や保育士の望む安全で質の高い保育の実現のため、要望への検討に努めます。

質問 全館空調のため、温湿度の配慮が必要な展示品にはケータイ単体での調整・管理を行います。

質問 乳幼児を持つ家庭を対象に「かるがものつどい」の拡充、小学校全学年まで給食費の無償化の拡大などを実施していきます。

質問 利用しやすい、人にやさしい住民の側に立った公共交通の確立を行政が定めるべきである。

質問 他に、月見が池耐震化と排水路越水予防対策工事について質問しました。

質問 人口減については、社会全体の構造、意識を変える取り組みが重要であるが、当市においては国や他の自治体に先駆けた取り組みが必要である。

質問 他に、合計特殊出生率の推移、移住相談の状況等について質問しました。

答弁 運営に向けた主な概要は。市所有の文化財の総数は、ジャンル別に考古、民族、歴史など資料総数は5万5千点余りを擁しています。

質問 大道団地の跡地を建て替える候補地としているが、具体的な計画はない状況です。

質問 子育て世代をどう増やせる

答弁 市所有の文化財の総数は、ジャンル別に考古、民族、歴史など資料総数は5万5千点余りを擁しています。

質問 若者らを呼び込む住宅団地の整備は。

質問 他に、合計特殊出生率の推移、移住相談の状況等について質問しました。

上野原市議会だより No.77 16



一般質問

地域公共交通について

質問

市内循環バス料金やデマンドタクシーへの補助等について及び他課との協議は。

答弁

利用料金は、最大で300円となっていきます。単純に利用者1人あたり約257円の補助を実施しています。また、デマンドタクシーの利用については現状、利用者1人あたり平均約2600円の市から支援がされております。このことから、中心市街地居住で、デマンドタクシーが使えない方との支援に差が生じています。そのため、取扱いについて関係各課等と協議を進めています。

質問

住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、日常生活に入れる環境について考えて必要な物品が容易に手に入ります。そのためには、日常生活への考え方には、買い物難民と言われる地域への考え方です。

答弁

買い物難民と言われる地域への考え方には、買い物難民と言われる地域への考え方です。



東山洋昭

M7級の地震に備えて 避難所運営は人権重視を

質問

「首都直下地震M7（立川市直下）」とは。

答弁

市内では、最大震度6弱が想定されています。南関東地域のどこかでM7程度の地震が発生する確率は70%です。

質問

防災科学技術研究所の地震ハザードカルテによれば、30年の超過確率の上野原の値は、震度6弱

33・1%です。これを基準に対策を取るのが相当

と思うが。

答弁

地域防災計画を見直す中で決定していきたい。

新耐震基準を満たしていない建物はどのくらいか。

耐震改修促進計画では、居

棟が耐震性がないとされています。

仮設住宅の建設計画は。

応急仮設住宅の建設の候補地は12か所で、564戸の建設を予定しています。

質問

避難所の運営の基本は、避難者の人権が守られることではないか。

答弁

避難者の人権に配慮した避難所運営や風評被害の防止など人権に対する啓発も必要です。

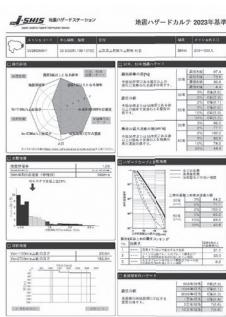
質問

ダンボールでの仕切りなどをプライバシーの確保とともに、避難所ごとに、女性の運営スタッフを置いては。

答弁

女性でなければ気が付かないことがたくさんあるので、女性のスタッフは必要だと考えています。

講習会などに女性の参加を呼びかけていきます。



川田好博

ハザードカルテ

上野原市のまちづくりについて



小俣 崇



狭隘道路の拡幅

質問

法定外公共物の用途廃止について。
市民の方などから取得したい旨の相談があつた場合に

答弁

人口減少が進む中では、市民の皆様にも住んでいる地域、市全体を自分事として考え、互いの立場、役割の違いを尊重し、参画をお願いします。

質問

都市計画道路の見直し構想とその目標年次について。

答弁

令和4年度より都市計画道路の変更について、本格的に着手しているところです。今年度は、山梨県との事前協議を行い、変更の素案について検討を行つてきました。現在4路線を廃止・見直しを行う方向で進んでいます。

防災・減災対策について 地震から市民の命を守れるか



杉本公文

質問 市民参加型の市政の在り方について。

答弁 まちづくりは、多様な市民と行政が連携、協働して作り上げるものと考えております。人口減少が進む中では、市民の皆様にも住んでいる地域、市全体を自分事として考え、互いの立場、役割の違いを尊重し、参画をお願いします。

他に、道路パトロール等について質問しました。

いと判断した場合、払い下げを行つていきたいと考えています。

質問

最新の当市における最大地震被害予測は、首都直下型M8相模トラフ地震で、冬、夕方6時の想定で、死者は431人、内火災が72人、重軽症者は1626人で、建物被害は、全壊が8955棟、半壊は4868棟と甚大です。市の防災計画を被害予測に基づき見直す時期と内容は。

答弁

見直しの時期は令和6年度を予定し、内容は被害想定の修正点と洪水や富士山噴火などについても修正を加える予定です。

質問

阪神大震災では、犠牲者の死因の8割が古い木造住宅や家具の倒壊などによる圧死、窒息死であったそうです。当市の住宅耐震化の現状と目標を伺います。

答弁

推計では当市の住宅総数9330戸の内、耐震性のある住宅数は8157戸で、耐震化率は87.4%で

す。目標は95%です。

質問 答弁では、市内に千戸以上の非耐震の木造住宅が存在するとされていますが、6

年度の耐震改修工事の補助金は、2戸分2百万円しますが、目標達成は困難です。住宅倒壊から市民の命を守るために経済的負担の少ない耐震シェルターの補助を早急に実施すべきでは。

シエルター支援事業については要綱の見直しも行う中で、金額の上限を36万円で準備をしています。

他に、市長任期残り1年の事業について質問しました。

答弁

一般質問

魅力ある街づくり、人口減少問題について



白鳥純雄

質問

人口が減り続けている現状で、市が最も力を入れている人口減少対策を伺う。

答弁

総合戦略の分野で、予算配分が一番大きい「結婚・出産、子育て支援」が、最も力を入れている施策となります。

質問

社会問題化している買物・交通難民などに対する、新たな取り組みを伺う。

答弁

市内5地区に、合わせて350か所の停留所を設置して、デマンドタクシーの運行や、様々な市民の移動支援を実施し、関係部署との協議を行い、利便性の向上に努めています。

意見

令和3年から5回の協議を行い、意見をとりまとめた中で再度協議を行う事となっています。

質問

桂川河川敷右岸の、公園整備も含めたスポーツ施設整備について、現在までの協議状況を伺う。

質問

地域の水道事業に対する課題解決に向けて、専門技術者などの意見を入れながら地域によって、水道問題が存在する中、生活環境の改善、住民福祉の向上にむけた、水道問題への取り組みを伺う。



市民と議会との意見交換会

市議会では、令和6年2月18日(日)に、市民の皆さんとの意見交換会を開催しました。

当日は30名の方にお集まりいただき、議員を含めた5つのグループに分かれ、それぞれの班において意見交換を行い、最後に各グループの発表を行いました。

内容は、

- ・人口減少問題について
- ・移住、観光問題について
- ・市の情報発信の在り方について
- ・ごみ減量化について
- ・高齢者の移動手段、買物難民について
- ・簡易水道の問題について

等で、多岐にわたり活発な意見が出されました。

ご参加いただいた市民の皆様におかれましては、貴重なご意見ありがとうございました。



市 民 の 声

上野原市で育って

上野原市議会だより No.77
令和6年5月1日発行



上野原高校
森 陽愛さん

生まれてからずっと上野原市で育ち、3月に上野原高校を卒業し、この春から大学生になります。生まれて初めて市外へ通学することになりました。上野原ではない場所で学生生活を過ごすことに期待でいっぱいですが、少し寂しい気持ちもあります。

小学校から高校まで上野原で学生生活を過ごし、感じたことがあります。それは学生が使える場所が少ない事です。最近では上野原駅周辺が再開発され、賑わいが戻りつつあります。ですが、学生、特に高校生などが勉強をしたり、友人とおしゃべりできるような場所がないと感じています。なので、若者が集まる場所を駅周辺に増やしてほしいと思います。若者の地元離れを少しでも減らすためにも学生世代に対するサポートを手厚くしてほしいです。

これからも上野原市に住み続けたいと思えるような素敵な場所になることを、上野原市に住む市民として期待しています。

6月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5 本会議 (初日)	6 議案調査	7 議案調査	8
9 委員会 予算特別	10 議案調査	11 総務産業 文教厚生	12 委員会	13 議案調査	14 議案調査	15
16 議案調査	17 本会議 一般質問	18 本会議 一般質問	19 本会議 一般質問	20 本会議 予備日	21 本会議 (最終日) 傍聴可	22 傍聴可

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までの赤ちゃんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

本年より議会だより編集常任委員会も委員構成が6名から7名に増員することになりました。新たに2名のメンバーが加わり、市民との結びつきも広がりを見せてくれると思いますし、新たな視点での議会広報にも取り組んでいく予定でいます。

これからも一人でも多くの市民の皆様に手に取っていただける「議会だより」を目指して尽力してまいります。

(内田倫弘)



議会だより編集常任委員会

委員長	内田 倫弘
副委員長	小俣 崇
委員	天野 淳一
委員	佐藤 澄男
委員	清水 一明
委員	安留 俊介
委員	八木 一雄

山梨県上野原市上野原 3832 番地

TEL:0554-62-3344(直通)
E-mail:shomugijji@city.uenohara.lg.jp

TEL:0554-62-3344(直通)

TEL:055-277-5511

印刷 / 青柳印刷株式会社
甲斐市長塚 526